

『さっきゃま魂』

R5. 5. 23 第4号

発行人：校長 中山 未永

避難訓練で見つけた子どもの成長

5月19日（金）今年度1回目の避難訓練を実施しました。「校務員室から出火」を想定した訓練でしたが、子ども達は、避難行動の約束をきちんと守り、安全・迅速に行動することができました。その訓練に真剣に取り組むことはもちろんですが、それ以外にも子ども達の姿から確かな成長を感じることができました。

それは、「話の聞き方」です。これまで、聞き方の指導（話し手を見て・反応しながら）には重点的に取り組んできましたが、今回感じたのは、「正しい姿勢」でした。当日は、前日の雨の影響で運動場が使えず、児童玄関までの避難となり、そこで話をするようになりました。

子ども達の前に立つと、全員の目が私を見ていることが分かりました。もちろん、1年生もしっかり私のことを見えています。話をしていると、その都度「はい！」という元気の良い反応があります。こちらの問いかけに、自分の思いをつぶやく子どももいます。話を真剣に聴いていることが伝わり、とても嬉しい気持ちで話することができました。



今回の新たな発見は、「話を聞くときの姿勢の良さ」です。背筋をピンと伸ばした姿勢を崩すことなく最後まで話を聞いていました。聞き方のレベルが上がってきていることを、とても嬉しく思いました。

いろいろな行事や集会等が行われるたびに、子ども達の成長を発見することができるので、いつも楽しみにしています。

今週は「持久走記録会」「久賀小との交流」も計画されています。この取組を通して、多くのことを学び、さらなる成長につなげられたらと思っています。

カウントダウンボード完成！

前回「カウントダウンボード」のお話をしましたが、やっと校門前のボードが完成しました。デザインやペンキ塗りでは修正や失敗の連続でしたが、なんとかイメージに近いものを仕上げることができました。

校長室前のボードは「崎小での生活 あと〇日」、校門前のものは「閉校まで あと〇日」となっているので、数字にずれがありますが、どちらも確実に1日ずつ減っていきます。数字を見ると、まだまだ先のことも感じますが、残された時間はそんなに長いものではありません。

「1日1日を大切に感じてほしい。」という思いから、数字の入替を高学年の子ども達にお願いしています。ゴールを意識しながら生活することで、子ども達の言動もより良く変わっていかせたいと期待しています。

先日「統合に係る協議会」が開催され、来月には「閉校記念事業実行委員会」も予定されています。いよいよ、閉校に向けての取組が本格的に始まっていきます。関係者の方々から、たくさんのご意見をいただき、その実現に向けて計画的に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

